

八丈島 水産だより 4月号 2009



フリージアつみ取り風景

フリージア畑

春爛漫、今年は八丈島の4つの小学校にもピカピカの1年生が75人入学しました。先日まで開催された春のイベント「フリージアまつり」は、良い天気にも恵まれました。また、会場のフリージア畑では、1人20本まで無料でつみ取ることが出来るとあって、多くのお客さんでにぎわいました。

漁師さんたちは、ハマトビウオ・カツオ・キンメダイなどの出漁に精を出しています。

■春のカツオは？

今年は、黒潮が八丈島の遠くを流れているため、黒潮の近くで行うカツオ漁の始まりが遅くなりました。しかし、3月下旬頃から、黒潮が徐々に八丈島に近づきはじめ、カツオも獲れ始めました。これからカツオ曳き縄の盛漁期となる4月になり、漁師さんたちは、カツオが八丈島の近くにたくさん来ることを待ち望んでいます。

ハマトビウオも、カツオと同じく漁模様が悪かったですが、4月に入り徐々に獲れ始めました。春のハマ

トビウオは、5月上旬まで続き、その後は夏のトビウオ漁へと移ります。キンメダイ漁は、カツオ漁の始まりが遅い分、今年の冬から引き続き操業しています。1月から3月までのキンメダイの水揚げ量は約81トンとなり、昨年約4倍になっています。



カツオ



ハマトビウオ



キンメダイ

■今日も都内の学校へトビウオ・ムロアジのミンチを沢山送りしました。



荷造風景

八丈島漁協女性部の取り組みにより、島の魚が学校給食にデビューしてから、早くも6年目を迎えました。

出荷量もだんだん伸びています。今朝も、八丈島のムロアジやメダイなどが女性部によりミンチや切り身となって、多くの学校へ出荷されました。